

モリブデン MoO₃相場は2年ぶり\$25超え

中国需要の堅調と欧韓のショートカバーで高値続く

ステンレスなど特殊鋼に用いられるモリブデンの国際相場が上昇している。三酸化モリブデン (MoO₃) のスポット価格は足元で25.5ドル/lb Moと、23年8月以来、2年ぶりの25ドル台を付けている。最大市場の中国では、長引く不動産不況で鉄鋼需要が低迷を続けるものの、モリブデンを添加する鋼種は、風力や原子力発電など新エネルギー向けや軍事向けなどが堅調。年初から大手鉄鋼メーカーのフェロモリブデン (FeMo) 入札数量が高水準で推移し、中国内価格の高値が国際相場をけん引していたが、さらに7月下旬に、より川上の二硫化モリブデン (MoS₂) の大手生産者の事故報道を受け中国内価格が急騰。供給懸念や今後の先高観を強めたヨーロッパのトレーダーや韓国の需要家が一斉にスポット調達に走り、国際相場を押し上げた。今後の相場について、レアメタル専門商社・アドバンストマテリアルジャパンの松村 洋・合金鉄部長によれば、「中国需要が底堅く、国際相場は大きな下げは起きにくい状況が続く」という。当面は25ドル前後の高値推移が続くとみられている。